

モニタリングチェックシート（平成26年度）

施設名	大泉図書館
指定管理者名	株式会社図書館流通センター
評価者	光が丘図書館長

<評価>

優：特記すべき実績・成果が認められるもの

良：管理運営が良好と認められるもの

要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み ・事業計画書で提案された収支計画の目標を達成できているか ・事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか ・管理業務費の経理については、適正な処理を行っているか(チェックリストの活用) ・帳簿等を整備して、管理業務費の執行状況等を記録しているか	良	・事業計画書で計画された事業が実施されているとともに、管理業務費の経理については、帳簿等を整備し、執行状況を記録する等、適正に行われている。
2 施設管理運営体制 ・業務の再委託における範囲は適正か ・再委託する際に、区内事業者の活用につとめているか ・物品を調達する際に、区内業者から調達するようつとめているか ・職員の配置は適正か ・職員について区内雇用の促進を図っているか ・職員の採用選考および勤務条件について、関係法例を遵守しているか ・設備の保守点検は適切に行われているか ・備品の管理は適切に行われているか ・人権について職員研修を行うなど、職員の育成につとめているか ・損害保険等の加入状況は適切か	良	・業務の再委託の範囲は適正であり、区内事業者の活用に努めている。 ・設備の保守点検や備品の管理が適切に行われ、必要な修繕等も実施している。 ・職員の区民雇用の促進にも努めている。 ・施設賠償責任保険に加入し、不測の事態に備えている。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み ・現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか ・苦情処理の規定と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか ・自主事業の実施にあたっては、事前に区の承認を得ているか ・自主事業の実施状況は良好か	優	・開館35周年を迎えて、各種の記念事業を展開し、図書館の魅力をPRした。 ・演劇部員による読み聞かせ、美術部員によるイベントポスター作製等、学校支援モデル事業担当校の児童・生徒による事業への参画を進めている。 ・アニメコーナーに続き、牧野富太郎博士コーナーを常設設置する等、地域の特色を活かした展示や事業を継続的に実施している。 ・在宅介護支援センターとの協働等、地域団体・区立施設との連携にも取り組んでいる。
4 法令遵守等 ・管理業務で知りえた秘密を保持する方策を講じているか ・緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか ・練馬区情報セキュリティポリシーに定める水準と同等もしくはそれ以上の水準を保障する対策を講じているか ・個人情報保護条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか(チェックリスト、マニュアル等の活用) ・情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか ・練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか	良	・「危機管理マニュアル」や「個人情報保護規程」、「情報公開規程」などの各種規程を整備し、適切に対応している。
5 利用者評価等 ・利用者アンケート等の評価は良好か	良	・アンケートによる利用者の満足度が、84%と高く良好である。
総合評価 良	(講評)	・開館35周年記念事業は、大泉図書館の存在感と魅力を改めて発信することで、さらなる利用に繋がるものである。また、近隣の小中学校や区立施設、地域団体との連携が進み、今後とも事業の広がりが期待できる。